

2026年7月31日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 藤田 広行

大同生命、株式会社クレディセゾンに対する 「大同生命 サステナビリティ・リンク・ローン」の実行

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：藤田 広行、以下「大同生命」）は、株式会社クレディセゾン（代表取締役（兼）社長執行役員 COO：水野 克己）に対し、「大同生命 サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）」を実行しました。

本ローンは、大同生命が制定した「大同生命 サステナビリティ・ローン フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）」（2024 年 11 月制定、2026 年 5 月改定）に基づく案件となります。

なお、本フレームワークは、関連する国内外の原則・ガイドラインへの適合性について、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者意見を取得しています。
(<https://www.ri.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>)

サステナビリティ・リンク・ローンは、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPTs」）の達成状況に応じて金利等の貸付条件が変動する仕組みとなっており、借入企業のサステナビリティ課題への取組みを促進し、持続可能な社会の実現に貢献することを目的とする融資手法です。

大同生命では、「[T&D保険グループ責任投資方針](#)」等に基づき、サステナビリティ課題の解決に資する投融資に取り組んでおり、本ローンは、こうした取組みの一環として実施したものです。今後とも、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めてまいります。

<本ローンの概要>

借入人	株式会社クレディセゾン（代表取締役（兼）社長執行役員 COO 水野 克己）
実行日	2026 年 7 月 31 日
SPTs	①2027 年度以降 2030 年度まで毎年 G H G 排出量（Scope1 および Scope2）8,746(t-CO2)（2024 年度実績値）の維持（※） ②CDPスコアA-以上の達成 ※借入人グループは 2027 年度以降、集計対象子会社の範囲拡大を予定しています。この影響により、今後更なる排出削減の取組みを行わなければ、2024 年度実績対比で 10% 程度排出量が増える見込みであることを確認しています。こうした状況下において、2027 年度以降も 2024 年度実績と同水準の排出量を維持する野心的な目標を設定しています。なお、SPTs は、従来の借入人グループの 2030 年度目標設定（2020 年度比 44%削減）を上回る水準となっています。
インセンティブ	単年度毎の SPTs 達成状況に応じた金利スプレッドの優遇

以上